

学校法人桜花学園 建学の精神

Philosophy behind the Foundation

心豊かで、気品に富み、洗練された近代女性の育成

Instilling a sense of grace and refinement in the heart and minds of modern women

創設者の大溪 専（おおたに もはら）先生は、宗教家であり、社会活動家であり、そして教育者でした。先生は人格教育を重んじ、日常生活の中での実践を何より大切にする方でした。

そして宗教精神に基づく女子教育を創設の理念として、その具体化を建学の精神に盛り込みました。

その意味するところは極めて哲学的であり、時代の変化に左右されることのない、永遠の目標を内容としており、現在の各学校で受け継がれています。

Mohara Ohtani, the founder of the school, was a man of religion, a social activist and an educator. He valued humane education and treasured the practice in everyday life. He aimed a school for girls' education based on religious spirit and materialized it as the Philosophy behind the Foundation of the school.

It's meaning is extremely philosophical. It indicates an eternal aim which is unaffected by the change of time, and it is inherited in every schools run by Ohkagakuen.

桜花学園大学のカリキュラムポリシーとディプロマポリシー

カリキュラムポリシー

桜花学園大学は、建学の精神に基づき「信念ある女性」を育成することを基本目的とし、幅広い知識を授け、高い教養と専門的能力、豊かな人間性がかねそなえた優れた人材を育成し、深く真理を探究して新たな知見を創造し、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与することを社会的使命とする。

桜花学園大学は、各学部・学科が定める教育目的・教育目標に基づき、学生に幅広い教養的知識を提供する「共通教育科目」と各学部学科において求められる専門的知識・技能を修得するための「専門教育科目」の2本の柱でカリキュラムを編成する。

「共通教育科目」は、幅広い視野を育成し、多面的・論理的な思考力とグローバルなコミュニケーション能力を養い、総合的な人間力を身につけることを目的とする。各学部の「専門教育科目」は、専門的知識と技能を身につけ、社会の変化に対応し、現代の多様な課題を解決し、社会に貢献できる能力の育成を目的とする。

免許・資格については、段階的・体系的に学修できるようカリキュラムを編成する。

ディプロマポリシー

桜花学園大学は、建学の精神に基づき「信念ある女性」を育成することを基本目的とし、幅広い知識を授け、高い教養と専門的能力、豊かな人間性がかねそなえた優れた人材を育成し、深く真理を探究して新たな知見を創造し、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与することを社会的使命とする。

各学部の教育目的・教育目標に沿って設定された教育課程を履修し、厳格な成績評価を経て、幅広く専門的知識と教養を修得することにより、現代の多様な課題を発見、分析、解決し、社会に貢献できる能力を身につけたと認められる者に対して学士の学位を授与する。

ディプロマポリシー（DP）に基づく学修指標とルーブリック

1. 学修指標とは

「何ができるようになるのか」、学修により達成する能力を具体的に示したものです。

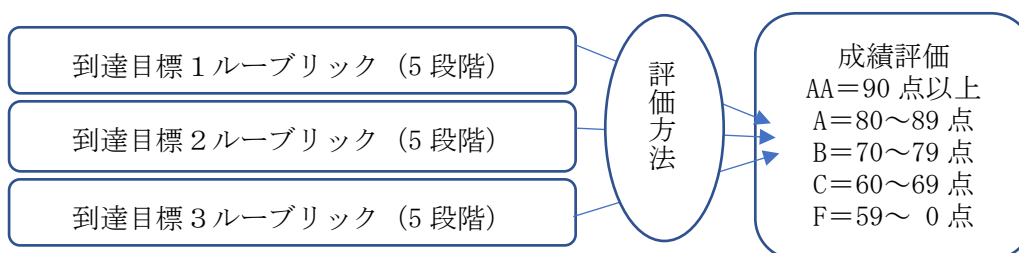
2. ルーブリックとは

従来のテストでは測ることが難しかったパフォーマンス（レポートやプレゼンテーション、議論やグループワークなど）を評価する基準です。評価の観点と学修者の到達度を一覧表にします。これにより、評価の明確化、公正化を実現します。

3. 教養科目「桜花学」「基礎科目」のルーブリック

①ルーブリックと成績評価基準

到達目標ごとのルーブリックを集約した評価は成績評価と正比例します。



②DPに基づく学修指標とルーブリック

※「DP」＝ディプロマポリシー

「桜花学」

DPに基づく学修指標	桜花学説明	評価の指標	ルーブリック				
			5	4	3	2	1
DP1. 高い教養に資する知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ①自分、人間、社会、世界、自然を理解するため、分断断片的に基本的な教養的知識を身につける。 ②変化に富んだ社会的課題に対して女性の視点から真理を探究できる幅広い視野を身につける。 ③人間の存在や文化を、自己の存在と関連付けながら、体系的・総合的に理解することができる。 	真理を追究する学修姿勢、幅広い知識の習得・体系的・総合的理解	人間の存在および人間の生み出した文化について幅広い知識を習得したうえで、基礎的・総合的視野に基づき、教養を体系的に関連付けながら課題を理解することができる。	人間の存在および人間の生み出した文化について知識を習得したうえで、基礎的視野に基づき、教養を体系的に関連付けながら課題を理解することができる。	人間の存在および人間の生み出した文化に関する学修を通して、既定の知識を習得し、体系的に関連付けながら課題を理解することができる。	人間の存在および人間の生み出した文化に関する学修を通して一定の知識を習得することができるが、体系的に関連付けながら課題を理解することができない。	一定の知識の習得と理解ができず、体系的に関連付けながら理解することができない。
DP2. 課題発見・分析・解決等 の汎用的技能	<ul style="list-style-type: none"> ①母国語および外国語を用いて、口頭・文章等によって、場面や相手の特性を意識しながら発信できる。 ②自分、人間、社会、世界、自然に関する多様な情報をモデルをもって質的量的に収集・加工・整理し、分析・解釈することができる。 ③自分、人間、社会、世界、自然に関する多様な情報や知識を論理的に思考・分析・表現することができる。 ④変化に富んだ現代の多様な公共的課題を、女性の視点から発見・判断・解決することができる。 	情報リテラシー（数量スキル、情報収集力、情報活用能力、情報分析力）	情報を適正に管理し、場面や相手の特性を意識しながら、適切にやりとりをすることができる。	情報を管理し場面や相手の特性を意識しながらやりとりをすることができる。	他者とのやりとりにも努め、提供された情報を閲覧し自己の意見を形成・発信することができる。	他者とのやりとりにも努めることができるが、情報を解釈することができず自己の意見を形成・発信することができない。	他者とのやりとりが見られず、自己の意見を発信することができない。
DP3. 価値観・態度・志向性	<ul style="list-style-type: none"> ①自らのキャリア展望を主体的に考え、生涯にわたって自己の主体性を軸に学ぶ意欲を持つ。 ②関心とモラル責任感をもって、社会の一員としての役割を担おうとすることができる。 ③幅広い知識に基づく理解力・思考力・判断力をもって、女性の視点から社会へ広く発信することができる。 ④多様性を尊重し異なる価値観を有する他者とともに、女性として信念をもって持続可能な社会を創り上げるために積極的に関与することができる。 	自己管理能力、持続力、倫理観、社会的責任感、チームワーク力（コミュニケーション力、多様性受容力）	他者との活動において適切な自己管理と倫理観・責任感をもって参加・協働し、持続的な自己開発意欲のもと、女性の視点を生かしながら創造的に問題解決に取り組むことができる。	他者との活動において自己管理と倫理観・責任感をもって参加するよう努め、持続的な自己開発意欲のもと、女性の視点を生かしながら創造的に問題解決に取り組むことができる。	自己を管理し倫理観・責任感をもって他者と協働し、女性の視点を生かしながら問題解決に取り組むことができる。	円滑な人間関係をもって他者と協働することができるが、問題解決に向けて役割意識が見られない。	他者と協働する姿勢が見られず問題解決への意欲が見られない。
DP4. 統合的な学習経験と創造的思考力	<ul style="list-style-type: none"> ①獲得した知識と総合的視野、多面的・論理的な思考力とコミュニケーション能力等をもとに、女性の視点から新たな知見を創造することができる。 ②変化に富んだ多様な現代の課題に最新の知見を適用し、他者と共に解決することで、持続可能な社会の発展に寄与することができる。 	総合力	今まで習得・蓄積した分野を越えた幅広い知識と理解を生かし、女性の視点から多面的・論理的に思考しながら、社会の発展に資する新たな知見を他者と共に創造することができる。	今まで習得した知識と理解に基づき、女性の視点から多面的・論理的に思考し、社会の発展に資する新たな知見を他者と創造しようとする。	既存の知識と理解に基づき、女性の視点から多面的・論理的に思考し、他者と共に何らかの知見を見出すことができる。	既存の知識と理解に基づき思考を働かせることができるが、他者と共に何らかの知見を見出すことができない。	既存の知識と理解を生かした思考ができず、他者と共に知見を見出すこともできない。

「基礎科目」

DPIに基づく 学修指標	共通教育説明	ルーブリック				
		5	4	3	2	1
DP1. 高い教養に資する知識・理解	<p>①グローバル化・ユニバーサル化した現代社会の諸課題に対して、真理を深く探究することができる。</p> <p>②複眼的視点から多様なアプローチを通して、学問領域の境界を文理横断的に越えながら、基本的・総合的視野に基づく幅広い教養的知識を身につける</p> <p>③専門性との往還・統合などを体系的に理解することができる。</p>	分野を越えて幅広い知識を習得し、真理を追究しながら、自己の専門性と結びつけて理解することができる	幅広い知識を習得したうえで自己の専門性と結びつけることができる	既定の知識を習得し、自己の専門性と結びつけることができる。	一定の知識を習得することができるが、学修した内容を自己の専門性あるいは幅広い分野と結びつけることができない。	知識の習得と理解ができていない。
DP2. 課題発見・分析・解決・発信等の汎用的技能	<p>①母国語および外国語を用いて口頭・文章等によって、場面や相手の特性を意識しながら発信できるグローバルなコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>②自然や社会的事象に関する多様な情報をモラルをもって質的量的に収集・加工・整理し、分析・解釈することができる。</p> <p>③知識や情報に基づき、学問や文化の境界を越えて多面的に考察し、論理的に思考・分析・表現することができる。</p> <p>④人間や社会における普遍的・根幹的な在り方を模索しながら、公共的課題を見出し判断・解決することができる。</p>	情報を適正に管理し、場面や相手の特性を意識しながら、適切にやりとりをすることができる。	情報を管理し、場面や相手の特性を意識しながらやりとりをすることができる。	他者とのやりとりに努め、提供された情報を閲覧し自己の意見を形成・発信することができる。	他者とのやりとりに努めることができるが、情報を解釈することができず自己の意見を形成・発信することができない。	他者とのやりとりが見られず、自己の意見を発信することができない。
DP3. 価値観・態度・志向性	<p>①自らのキャリア展望を主体的に考え、生涯にわたって自己の主体性を軸に学ぶ意欲を持つ。</p> <p>②関心とモラル、責任感をもって、社会の一員としての役割を担おうとすることができる。</p> <p>③幅広い知識に基づく理解力・思考力・判断力をもって、社会へ広く発信することができる。</p> <p>④多様性を尊重し異なる価値観を有する他者とともに、持続可能な社会を創り上げるために積極的に関与することができる。</p>	他者との活動において、適切な自己管理と倫理観・責任感をもって参加・協働し、持続的な自己開発意欲のもと、創造的に問題解決に取り組むことができる。	他者との活動において、自己を管理しながら倫理観・責任感をもって参加・協働するよう努め、持続的な自己開発意欲のもと、創造的に問題解決に取り組むことができる。	自己を管理し、倫理観・責任感をもって他者と協働し、問題解決に取り組むことができる。	円滑な人間関係を目指して活動へ参加することができるが、問題解決に向けた協働的な役割意識が見られない。	他者との協働・活動への参加する姿勢が見られず、問題解決への意欲が見られない。
DP4. 体系的な学習経験と創造的思考力	<p>①獲得した知識と総合的視野、多面的・論理的な思考力とコミュニケーション能力等をもとに、新たな知見を創造することができる。</p> <p>②変化に富んだ多様な現代的課題に最新の知見を適用し、他者と共に解決することで、持続可能な社会の発展に寄与することができる。</p>	今まで習得・蓄積した分野を越えた幅広い知識と理解を生かし、多様な視点から多面的・論理的に思考しながら、社会の発展に資する新たな知見を他者と共に創造することができる。	今まで習得した知識と理解に基づき、多様な視点から多面的・論理的に思考し、社会の発展に資する新たな知見を他者と創造しようとするすることができる。	既存の知識と理解に基づき、多様な視点から多面的・論理的に思考し、他者と共に何らかの知見を見出そうとすることができる。	既存の知識と理解に基づき思考を働かせることができるが、他者と共に何らかの知見を見出すことができない。	既存の知識と理解を生かした思考ができず、他者と共に知見を見出すこともできない。

